

(3) がん医療

分野別施策		個別目標名	目標数値	目標年度	基準数値		進捗状況		備 考	改善等	目標超
					(数値)	(年度)	(数値)	(年度)			
21	①医療機関の整備と医療連携体制の構築	全ての二次保健医療圏域にがん診療連携拠点病院の整備・がん診療連携拠点病院数	9圏域(10病院)	H26	8圏域(9病院)	H24	9圏域(10病院)	H26(達成済)	がん診療連携拠点病院現況報告	-	○
22		全てのがん診療連携拠点病院に地域連携クリティカルパスの整備	9圏域(10病院)	H25	7病院	H23	9圏域(10病院)	H26(達成済)		-	○
23		全てのがん診療連携拠点病院にがんセンターボードの整備	9圏域(10病院)	H25	9病院	H23	9圏域(10病院)	H26(達成済)		-	○
24		全てのがん診療連携拠点病院にチーム医療体制の整備	9圏域(10病院)	H27	-	H24	※	H29		-	-
25	②がん医療に携わる専門的な医療従事者の育成及び確保	放射線療法に従事する専門の医師数(放射線腫瘍医及び放射線療法に専任する医師)	20人	H29	15人	H23	22人	H29(達成済)	「日本がん治療医認定機構」公表資料 がん診療連携拠点病院現況報告 「日本看護協会」公表資料 医療政策室調査、累計 がん診療連携拠点病院現況報告等	↗	○
26		化学療法に従事する専門の医師数(がん治療認定医師数)	150人	H29	124人	H24	152人	H28(達成済)		-	○
27		病理診断に従事する専門の医師数(がん診療連携拠点病院の常勤医師数)	10人	H29	7人	H23	13人	H28(達成済)		-	○
28		がん看護専門看護師及びがん関連領域認定看護師数	60人	H29	35人	H24	74人	H28(達成済)		-	○
29		がん医療を担う医療従事者の育成(国立がんセンター等への研修受講者数)	100人	H29	20人(参考・単年度)	H24	48人	H29		-	-
30		がん診療連携拠点病院をはじめとした医療機関の専門医配置の有無等、がん患者にとって分かりやすく提示できる体制の整備	9圏域(10病院)	H29	-	H24	※	H29		-	-
31	③がんと診断された時からの緩和ケアの推進	全てのがん診療に携わる医師の研修等による緩和ケアについての基本的な知識の習得	100%(800名)	H29	113.5%(681名)	H24	827名(H25～29)	H29(達成済)	がん診療連携拠点病院現況報告等	↗	○
32		全てのがん診療に携わる医療従事者が基本的な緩和ケアを理解し、基本的な知識と技術を修得	100%	H29	-	H24	※	H29		-	-
33		がん診療連携拠点病院自施設のがん診療に携わる全ての医師が緩和ケア研修を修了	9圏域(10病院)	H29	-	H24	※	H29		-	-
34		がん診療連携拠点病院の緩和ケアの提供体制の強化及び質の向上(精神腫瘍医の配置、又は連携体制の確保)	9圏域(10病院)	H27	-	H24	※	H29		-	-
35		がん診療連携拠点病院の緩和ケアの提供体制の強化及び質の向上(がん看護の専門看護師・認定看護師の配置)	9圏域(10病院)	H27	-	H24	9圏域(10病院)	H26(達成済)		-	○
36	④地域の医療・介護サービス提供体制の構築	がん患者の意向を踏まえ、住み慣れた家庭や地域での療養を選択できる患者数の増加(がん患者の在宅等死亡割合)	9.8%	H28	8.4%	H23	11.0%	H28(達成済)	保健福祉年報(県保健福祉部)	↗	○
37		末期のがん患者に対して在宅医療を提供する医療機関数(在宅がん医療総合診療科届出施設数)	9.0施設(人口10万対)	H29	5.8施設	H24	9.3施設	28年3月(達成済)	診療報酬施設基準	↗	○
38		がん患者がその居住する地域に関わらず等しく質の高いがん医療を受けられる体制の整備(がん診療連携拠点病院の機能強化)	9圏域(10病院)	H29	-	H24	※	H29	がん診療連携拠点病院現況報告等	-	-

(4) 情報提供及び相談支援

分野別施策		個別目標名	目標数値	目標年度	基準数値		進捗状況		備 考	改善等	目標超
					(数値)	(年度)	(数値)	(年度)			
39	①がんに関する情報提供及び相談支援	全ての二次保健医療圏域に相談支援センターの整備	9圏域(10病院)	H25	8圏域	H24	9圏域(10病院)	H26(達成済)	がん診療連携拠点病院現況報告等	-	○
40		全ての相談支援センターにがん対策情報センターによる研修を修了した相談員の配置	9圏域(10病院)	H25	9病院	H24	9圏域(10病院)	H26(達成済)		-	○
41		がんの治療や副作用・合併症に関する情報も含めて、患者とその家族にとって活用しやすい相談支援体制の実現(各がん診療連携拠点病院相談支援センターの総合的なセンター機能の確保)	1箇所	H27	-	H24	-	H29		-	-
42	②患者会等活動の充実	全ての二次保健医療圏域にがん患者サロン活動の取組の確保	9圏域	H29	3圏域	H24	9圏域(全圏域にサロン確保)	H29(達成済)	医療政策室調査	-	○
43		患者家族会の取組の紹介など、総合的ながん情報の発信	実施	H27	-	H24	①患者会活動、②イベント後援(県HP等による発信)	H29		-	-
44		相談支援センターへのピアサポート機能の確保	9圏域(10病院)	H29	-	H24	一部実施(1圏域で自主的取組あり)	H29		-	-

(5) がん登録

分野別施策		個別目標名	目標数値	目標年度	基準数値		進捗状況		備 考	改善等	目標超
					(数値)	(年度)	(数値)	(年度)			
45	がん登録	全てのがん診療連携拠点病院等における院内がん登録及び地域がん登録の実施並びに実施状況の把握、改善	9圏域	H25	8圏域	H24	9圏域	H25(達成済)	がん診療連携拠点病院現況報告等	-	○
46		全てのがん診療連携拠点病院等における、がん登録の実務を担う者の必要な研修の受講	9圏域	H25	8圏域	H24	9圏域	H25(達成済)		-	○
47		全てのがん患者の登録の実現	100%	H29	-	H24	※	H29		-	-

(6) 小児がん

分野別施策		個別目標名	目標数値	目標年度	基準数値		進捗状況		備 考	改善等	目標超
					(数値)	(年度)	(数値)	(年度)			
48	小児がん	国の小児がん拠点病院(仮称)とがん診療連携拠点病院との役割分担と連携体制の構築	9圏域(10病院)	H29	-	H24	※	H29	がん診療連携拠点病院現況報告等	-	-

(7) がんの教育・普及啓発

分野別施策		個別目標名	目標数値	目標年度	基準数値		進捗状況		備 考	改善等	目標超
					(数値)	(年度)	(数値)	(年度)			
-	がんの教育・普及啓発	(再掲)患者家族会の取組の紹介など、総合的ながん情報の発信	実施	H27	-	H24	①患者会活動 ②イベント後援(県HP等による発信)	H29	医療政策室調査	-	-
49		国の検討結果に基づく教育活動の実施	100%	H29	-	H24	①1圏域でモデル事業実施等 ②学校現場等における外部講師活用	H29	がん教育総合支援事業(H27～H28)ほか	-	-

(8) がん患者の就労を含めた社会的な問題

分野別施策		個別目標名	目標数値	目標年度	基準数値		進捗状況		備 考	改善等	目標超
					(数値)	(年度)	(数値)	(年度)			
50	がん患者の就労を含めた社会的な問題	がん患者・経験者の就労に関するニーズや課題の取りまとめ ※国の「がん患者・経験者の就労支援のあり方に関する検討会報告書(H26)」 「事業場における治療と職業生活の両立支援のためのガイドライン(H28)」ほか参考	取りまとめ	H27	-	H24	①課題等把握(国報告書を活用) ②取組(啓発活動等)	H29(達成済)	国の取りまとめ資料によるニーズ・課題等の把握	↗	○
51		がん診療連携拠点病院(相談支援センター)等と労働部門との連携による、がん患者の就労支援に向けた試行的取組の実施	9圏域	H29	-	H24	1圏域	H29	就職支援ナビゲーター事業(HW盛岡)	-	-

※印については、測定困難なもの(国が示す基準等により評価を行う予定であったもの)。